



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ
<http://www.fureai-support.jp/>



10・11月号
令和3年9月17日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 相馬市中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

コロナ禍で一年遅れになったオリンピック・パラリンピックが開催された今年の夏。

真夏日が続いたと思ったら、梅雨のような日が続いたり・・・と

厳しい暑さが収まっても湿度が高いため、まだ熱中症にも要注意。夏の疲れが出やすい季節の変わり目です。

5月に植えた稲の穂はこうべを垂れ、ススキの穂も風に揺らぐ様を目にして、秋の訪れを感じます。

かいがぞうけいきょうしつでは1学期に「はっばの模様のお皿」を作りました。只今乾燥中。

友遊窯を開窯してから26年目になりますが、年々、焼き上がりに、ワクワクする回数が増えました。

芸術の秋、多くの皆さんに炎の芸術を楽しんでいただけたらと思います。

幼・保育園・親子会・学年行事・放課後児童クラブ・デイサービスでは、出前講座で陶芸の楽しさをお伝えしております。陶芸に興味のある方、やってみたい方、いつでもお声かけください。2学期始めの陶芸教室は、マイカップ作りをしました。



南飯淵アトリエ 写生

カニ・どっちが美味しそう

夏の特別授業でハイチーズ!

スノードーム完成

北町アトリエ幼稚園 陶芸

8・9月のかいがぞうけいきょうしつでは…

夏の特別授業・ようこそ先輩:スノードーム作り

バックになる絵を先ず描いて、次の作業は瓶の中に物を置く。難しかったけど、工夫しながら、だんだんコツをつかんで完成。世界で一つだけのオリジナルスノードームができ良かったです。

未就学児～小学生:花火・秋の果物 リンゴ・もも・ぶどう

長寿の森園で実った果物をお味見しながら描きました。今年はお店で買ったような大きくて美味しい果物でした。倉本先生がどうしたら美味しいのが作れるか・・・と考えたり、工夫したり・・・枝の剪定・実選り・袋掛けと汗を流して実った果物なのです。

3年生～中学生:油絵

短いスパンで仕上げるのではなく、計画を立て逆算して制作4・5週間かけて完成させます。3年生は初挑戦。特に油絵は、こつこつと努力が必須。片づけは、ちゃんとしないと来週が大変。

陶芸教室:葉っぱの模様のマイカップ作り

信楽焼きの白粘土でマイカップを作りました。只今乾燥中!! 湯呑み茶碗やミルクカップ、花びんに・・・何に使いたいですか。熊の形を型押ししました。焼き上がり楽しみです。

10・11月の活動予定 & 事務連絡

◎きょうしつは

- ・カレンダー作り
- ・秋野菜収穫 or りんご狩り

◎ご請求は

- ・10月は月会費に 暖房費1800円を加えて
- ・11月は月会費に 展覧会費2000円を加えてご請求します。

アシスタントリーダーさん紹介・どうぞよろしく・・・

- 水曜日教室は 荒 しおり リーダー(相馬高校2年生)
- 金曜日教室は 倉本いろは リーダー(原町高校1年生)

スタッフのアシストと、子供達の憧れのリーダーとなって部活や勉強で忙しい時間の中、楽しい時間を共有し活躍しております。

おじいちゃん・おばあちゃんありがとうございます。

デイサービス友遊も開所してから9年3ヶ月が経過しました。おじいちゃん・おばあちゃんは、子ども達のパワーを吸収し、笑顔が甦る。そして、子ども達は交流を通して思いやりのある優しい心が生まれ、それを自然な形で表現している様子は微笑ましい。

子ども達の望ましい育ちにはなくてはならない大きな存在のおじいちゃん・おばあちゃんです。

アトリエは、更により環境が生まれ嬉しい限りです。より安心して生活できるリンクされたオアシスを作っていきたいと思ひます。

少子高齢社会・核家族の多い今日。子育て・介護問題と、家族が抱える問題は深刻になってきています。

ますます憩いと安らぎの空間を創造する責務を感じ、アトリエの果たすべき役割を、これからも担っていきたく思ひます。

9月20日は敬老の日です。おじいちゃん・おばあちゃん、いつもありがとうございます。どうぞ、長生きしてください。

夏の特別授業 ようこそ先輩 夏休みの思い出作ろう！スノードーム作り

創立より56年目の今年度、たくさんの卒業生がそれぞれの道でご活躍されております。今回は原町高校、相馬高校、北海道教育大、宮城教育大卒業の先輩をお迎えし特別授業を行いました。中学生コースの小野内君もリーダーに加わり、密にならないよう6グループに分かれ制作。仕上がった作品も思い出作品になりましたが、それ以上に、この交流で子ども達も先輩もそれぞれ大きな収穫があり、良い夏の思い出になったようです。

みんな イキイキ キラキラ いい笑顔に なるお帰りになりました。また、こういう機会があったらまた参加したいという先輩達、嬉しいです。

リーダー・スタッフの声より

紙面の関係上、全文載せられず残念ですが、拝読ください。

今年の夏、まり子先生の補助を受けながら特別授業を計画し実行させていただきました。実行するに当たりサポートをしていたいただいた先生方と中高生の皆様には深く御礼申し上げます。そして、今回の活動を通して学んだこと・気づいたことをこの場をお借りして述べさせていただきます。

今回の夏の授業ではスノードームを作製しました。今回の活動を通して子どもたちに「ものを作る楽しさ」を体験し、友達や家族とその思いを共有することができるような授業にしたいと考え、スノードームというものにしました。一見スノードームと聞くと季節違いのように思うかも知れませんが、私も夏真っ盛りの中適切かどうか何度も考えました。その中でも作ったものが形として残り、一人一人好きなように作ることができることからスノードームを選びました。また、今年は異例な暑さが続いており（授業について考えていたときは進学先の気温 36℃の旭川にいましたので…）気持ちだけでも涼しくなってもらえたらという思いもこめて決定しました。制作したものをお友達同士で「いいね」「かわいいね」と話している様子が見られたときはとても嬉しい気持ちになりました。また、帰りのお迎えの時に親御さんに嬉しそうに見せている様子が見られたときは僣越ながら今回の授業ができてよかったと思えました。

今回の活動は子どもたちの学びの場だけでなく、私たち大学生・高校生・中学生にとっても大きな学びの場となりました。子どもたちにどう話しかけることで作り方をわかりやすく伝えることができるのか、グループ活動のリーダーとしてどうすることで子どもたちをまとめることができるのかなどを学ぶことができました。私自身もどの順序で話し、どう説明することが最も子どもたちにとってよいのか、作業中の子どもたちにどう声かけをしていけばよいのかを学ぶことができました。

スノードーム作りを通して子どもたちをはじめ私たちサポート生もたくさんのことを学んだことと思います。それもここまでサポートしてくださった先生方のご支援があったからだと思います。誠にありがとうございました。またこのような機会をいただける時に向けて、これからの学生生活でたくさん学んでいきたいと思っております。

改めまして、このたびは貴重な経験をさせていただきありがとうございました。私自身さらにより授業を作っていけるよう、日々学んでいきます。皆さんにまた会えるのを楽しみに・・・
(チーフリーダー 佐藤幸紀)

●私は、この特別授業で年下の子への接し方や年下の子に自分の言いたいことを伝える方法を学ぶことができました。もし、またこのような機会があったらぜひ参加できたらいいなと思います。
(1班 R、武藤由依)

●オブジェの取り合いになった時、譲ってあげたり、片付けや挨拶を進んでやったり、小さい子の面倒を見てあげたりと優しい子ども達印象的だった。大変だったが、学びの多い時間を持って参加でき良かった
(2班 R 倉本いろは)

●子供達の個性豊かなスノードームが完成し「こんなふうにできたよ」と見せてくれ、カッコよくアレンジした物がたくさんあって、見ている私も楽しい気持ちになりました。
(3班 R 村上琉優)

●一人一人に対応し、時間をどのように使って充実したものにするか、悩みましたが、みんな積極的に動いてくれ助かりました。子ども達の元気の良さ、先生方の全体を見た指導法見習わなければと痛感しました。
(4班 R 荒しおり)

●みなさんと久しぶりに関わることができて大変嬉しかったです。思い思いに作ったスノードームはどれも素敵で、見ていてとても楽しかったです。一緒に作った班の子ども達、企画してくださった皆様、素敵な体験をありがとうございました。
(5班 R、太田美優)

●僕は、他の班のリーダーが全員高校生の中、一人だけ中学生でした。不安もあったけど、先生のサポートや、他の班からの助けもあって、最後までやりきれました。
(6班 R 小野内清人)

●子ども達のスノードームに、静かに舞う雪。小さな自分だけの世界。手作りの物はやっぱり心がこもっていますね。

午前10時、私達絵画教室の先輩達は挨拶もそこそこに準備に集まっていた。まず私に与えられたゆで卵のカラむき。30?40個もあろうか。久々に忍耐力を使うほど、カラがむけない！ポロポロ、しかも薄皮を取り除くのに1個終わるのに1分以上はかかる。イライラするも、1人2人と手伝う人数が増えるにつれ1時間後、ゆで卵との戦いは終了。こんな苦労も知らず、ドームの中の動物達は、雪のように舞い散るゆで卵のカラを見ながら今日も嬉しそうに笑っていることでしょうね。
(S 遠藤裕子)

収穫の秋

体験活動を行うこと令和3年度の田植え体験までで655回実施。田植え体験は、17年間稲刈り体験は、4年間行いました。



昨年度はコロナ問題で学校も休校。絵画教室も休まざるを得ず、田植え体験はできず残念でしたが今年度は世界中でコロナ問題に右往左往していますが、毎年田んぼを管理していただいている新田の高橋さんをお願いし、稲は田んぼで例年通り実りの秋を迎えました。

新米オニギリのお味をお楽しみに・・・

高橋さんはじめ、中野さん、阿部さん、山田さん、水野さんこれまで田植え・稲刈りに関係された皆様に、御礼申し上げます。

ミルクィー・6歳の誕生日 10月18日 おめでとう！

○犬の種類 ラブラドル・レトリバー (メス)

○毛色 薄茶 ○出生地 盲導犬協会

アトリエの玄関で、えのきょうしつのみんをお迎えし、終わる前に玄関に出てお迎えのおうちの人を待ち受けているミルクィーちゃん。盲導犬協会で躰けられてきたので、とてもおこさんです。

3歳でアトリエの

セラピー犬になり、絵画教室でデイサービスでアニマルセラピーの役割を果たしてくれミルクィーちゃんに会うとみんなの顔がいい顔に・・・
ありがとうね。ミルクィーちゃん

